

傷んだ爪の表面観察



SUSCARE

1. 測定条件

化学的なダメージを与えた前後の爪との表面を卓上型走査電子顕微鏡による観察像にて比較した。化学的ダメージはヒト爪甲遊離縁をクロロホルムに3日間浸漬によるダメージとする。

2. 測定結果

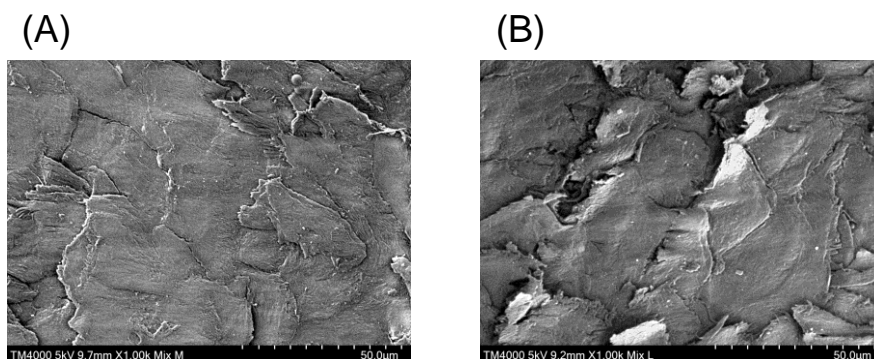


図1.卓上型走査電子顕微鏡による処理前後の爪の二次電子像および反射電子像の合成。(A)はダメージ処理前の爪甲遊離縁；(B)はダメージ処理後の爪甲遊離縁。

3. 測定結果から得られる情報

- 低真空にて非導電性の試料を導電処理なしに観察できるので、処理前後の試料の観察ができます。
- 反射電子像は形状情報を、二次電子像は凹凸構造情報を得るときに用いる。同時に2つの情報を得るために、2種類の電子像の合成を示します。
- ダメージ処理前の爪甲遊離縁はなめらかな表面であることを示します(図A)。
- ダメージ処理後の爪甲遊離縁は脂質等が溶出して、表面に凹凸があることを示します(図B)。

4. 使用機器／利用料金

卓上型走査電子顕微鏡（分析機能付き）

(TM-4000Plus, 日立ハイテクフィールドディング社製)

中小企業：1,700円

一般企業：3,400円（1時間あたり）

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。